# 競 技 注 意 事 項

２０２６　名古屋地区選手権大会 第２日・３日

１ 本大会は２０２６年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

２ アスリートビブスについて

(1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。
跳躍種目は、背または胸につけるだけでも構いません。

(2) トラック競技のうち８００m以上の種目に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさで明確に数字が読めるようにつけてください。

(3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却してください。

３ ウォーミングアップについて

・競技進行に支障がない範囲で競技場のコースの使用（原則バックストレート）を認めます。
競技役員の指示に従って安全に配慮して行ってください。
・駐車場でのウォーミングアップは禁止です。
・大会準備のため最初のトラック競技開始時刻１５分前にすべての練習を一旦中止してください。
・競技場では、牽引用チューブやミニハードル等の持ち込み、使用は禁止します。
・朝の練習時、ハードルの設置を以下のようにします。
第２日（１０月３１日）
５・６レーン　女子１００mH　　７・８レーン　男子１１０mH
・レース前のスタート練習については、係の指示に従ってください。
・フィールド種目は競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従って練習を実施してください。

４ 招集について

(1) 招集所は第２コーナー付近倉庫内（1 番倉庫）に設けます。すべての種目の招集をこの場所で行います。

(2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。

(3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

| | 種　　目 | 招集開始 | 招集完了 |
|---|---|---|---|
| トラック競技 | すべての種目 | ３０分前 | ２０分前 |
| フィールド競技 | 棒高跳び以外の種目 | ５０分前 | ４０分前 |
| | 棒高跳 | ７０分前 | ６０分前 |

(4) リレーのオーダー用紙提出の締め切り時刻は、すべての組が最初の招集グループの招集完了時刻の１時間前とします。

(5) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、招集開始時刻前の招集を認めますので競技者係主任（招集所）に事前に申し出てください。

５ 競技場への入退場について

(1) 競技場の開場は、競技開始２時間前とします。

(2) 入退場は、南・北側ゲート、第２コーナーゲートとします。競技役員の指示に従ってください。

６ レーン順・試技順について

(1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。

(2) 欠場者のレーンは１００m～４００mの距離の種目では空けます。その他の種目については競技役員の指示に従ってください。

7 競技について

(1)トラック競技

①この大会のスタートは競技規則ＴＲ１６によって実施します。

②すべて写真判定装置を使用します。

③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。

④同タイムの着差は、１０００分の１秒差までで判定します。

⑤以下の時間に競技を打ち切ります。

男子５０００ｍW ３０分、女子５０００ｍW ３５分、

男子３０００ｍＳＣ １５分、女子２０００ｍＳＣ １３分

⑥５０００ｍWは参加人数によっては、男女混合で実施します。その場合の制限時間は３５分とします。

(2)フィールド競技

長さを競う種目はすべて３回試技とします。

①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。

②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。

③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを２個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを１個だけ使用できます。

④三段跳の踏切板は、男子１１ｍ、女子８ｍ・１０ｍで行います。

(3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則ＴＲ６．３．２で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・ＣＤプレイヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することができません。

(4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

（ただし、天候等の状況により変更する場合があります。）

選手権

| | 練習 A　練習 B | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子棒高跳 | 3m20　4m00 | 3m50 | 3m70 | 3m90 | 4m10 | 4m30 | 4m50 | 以後 10cm |
| 女子走高跳 1組 | 1m30　1m60 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 以後 3cm |
| 女子走高跳 2組 | 1m20　1m40 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 以後 3cm |

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第１位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は２cm、棒高跳では５cm とします。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、２つまで持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の１時間前から招集開始時刻までの間に第２倉庫前（招集所隣）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

10 競技用靴について（ＴＲ５参照）

スパイクの長さは９㎜以内とします。ただし、走高跳・やり投は１２ｍｍ以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は４ｍｍ四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は１１本以内です。

規定に合致しない靴は使用出来ませんのでご注意ください。使用した場合は失格となります。

２０２６年４月１０日より、サークルから行われる投てき種目（砲 丸投、円盤投、ハンマー投）は、競技用靴に関する規程の適用対象外になりました。

※競技規則ＴＲ５シューズに関するルールによって、靴底の厚さが２０mmを超えるシューズは使用不可です。

※靴底の厚さが適正であるかは、承認シューズリスト（https://certcheck.worldathletics.org）で確認をしてください

11 表彰について（選手権のみ）

優勝者には賞状と選手権賞、２～８位までは賞状を授与します。
優勝者は結果発表後にグラウンド内で表彰を行います。
２位以下の賞状は、結果発表３０分後をめどにスタンド下、中央通路に取りにお越しください。

12一般的注意事項

⑴本大会はコンピュータを活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。
＊本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。
⑵貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。
⑶応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置が受けられます。なお、応急処置後の治療は、本人負担とします。
⑷清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努めてください

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者が持参してください。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・動画撮影について以下の点にご協力ください◆

※ 保護者および本人の了承がない撮影を禁止します。
※ 撮影に使用できるのはスマートフォン、タブレットのみです。
※ 一眼レフカメラ、ビデオカメラでの撮影は禁止します。
※ 撮影禁止エリアは下記のとおりです。
◎ 各種目のスタート後方
◎ 走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方と着地前方
◎ 走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
※ 選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときの撮影を禁止します。
※ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡します

## 駐車場が少ないためご来場には公共交通機関をご利用ください

## 競技場前の駐車場は競技役員専用です

競技役員以外は、市役所西駐車場などをご利用ください